

平成28年度庄原市人権教育研修会

平成28年11月2日（水） 庄原市総合体育館 第2会議室

【研修の目的】

「広島県人権教育推進プラン」に基づいた人権教育の在り方及び教育内容・方法を研修することで、各校における人権教育の充実を図るとともに、指導者としての資質の向上を図る。

【サテライト研修講座】

人権教育「授業で進める自他を大切にすると人権尊重」講座

広島県立教育センター 指導主事 澤井 一恵

【概要】

人権教育の推進に係る法令や指針，プラン及び学習指導要領に基づき，人権教育の視点での指導を工夫し，児童生徒の感性や人権感覚を高めること。その際，児童生徒の実態把握を十分に言い，目指す児童生徒の具体的な姿を実現するよう指導を工夫すること。

【研修の様子】



【参加者の振り返り】

・人権教育全体計画を再度見直し，目標を確認したり人権教育の視点で児童の実態を交流したりすることを通して，学校全体として意識的に人権教育に取り組みたい。

・人権教育推進プランにおける意識すべきポイントを明確に示していただいたので，校内で再認識を図りたい。

・自校で取り組んでいる「主体的に学び合う授業づくり」が，人権教育において育てたい資質・能力の育成に役立つことが分かった。児童の実態をさらにつかみ，人権教育の視点を一層はっきりさせた授業づくりを行いたい。

・人権教育における普遍的な視点で，一人一人の児童に焦点を当てて具体的な取組を考えるマトリックスシートは，活用できると思った。また，いつも行っているペア学習等を人権教育の視点でも考えてみると，声のかけ方が変わるなど，指導が充実すると思った。

・目の前にいる児童の特徴，傾向を分析し，それぞれの児童に必要な力及び具体的な指導の工夫を考えていきたい。

・教師自身の人権感覚（意識）を高めることが大切なことを改めて感じた。